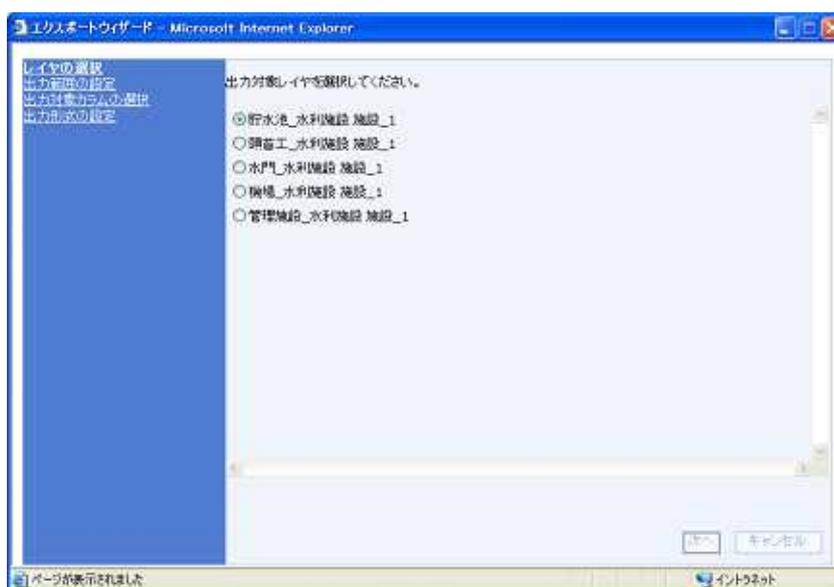


## 21. エクスポート

選択地物の図形および属性をシェープファイル、CSVとしてエクスポートします。

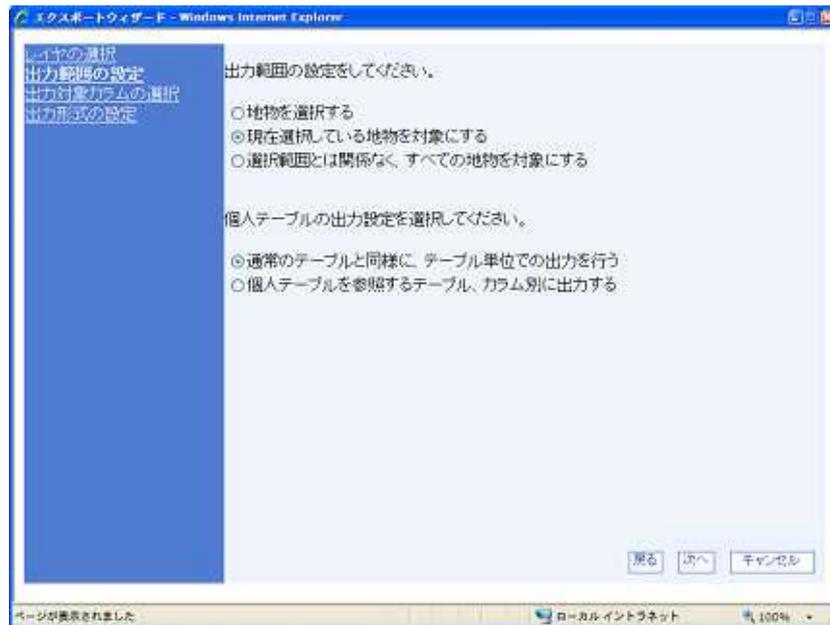


処理一覧で「対象レイヤの属性値をエクスポート(CSVファイル出力)」を選択します。  
「実行」ボタンをクリックすると、エクスポートウィザードが表示されます。



対象レイヤ選択画面が表示されます。エクスポートの対象のレイヤを選択して「次へ」をクリックします。

レイヤー一覧には、地図に追加しているマスタデータ、作業データ、履歴レイヤが表示されます。  
対象レイヤでグループレイヤが選択されている場合は、グループレイヤ名が表示されます。  
非表示レイヤは対象レイヤに表示されません。

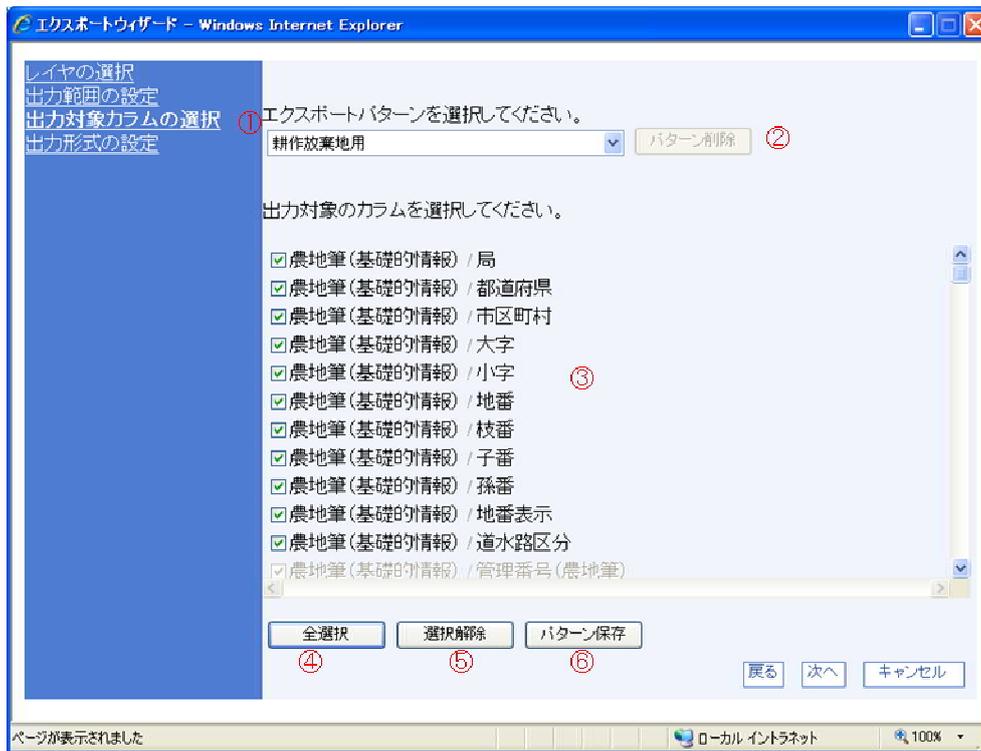


出力範囲指定画面が表示されます。出力範囲を指定選択して「次へ」をクリックします。

地物を選択する：地物選択ツールが起動します。地図から地物を選択してください。

現在選択している地物を対象にする：地図上で選択状態の地物(または関連するレコード)をエクスポートします

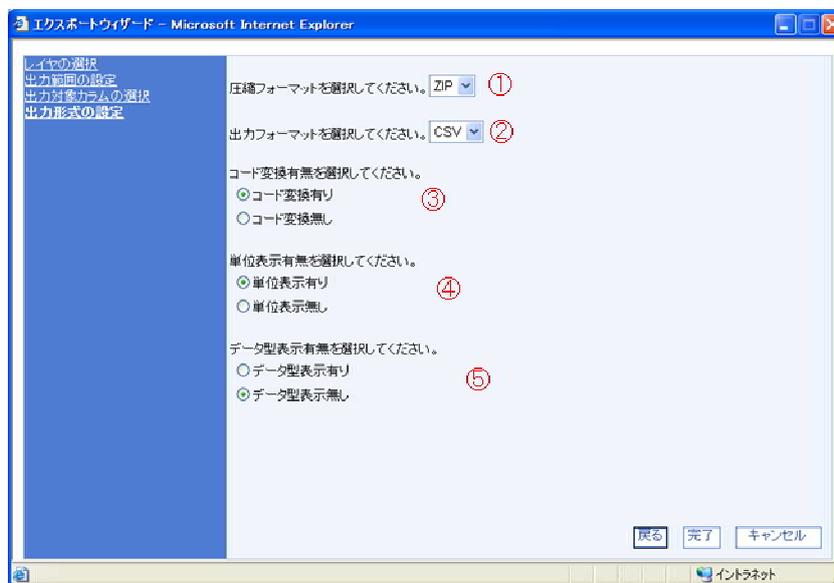
選択範囲とは関係なく、すべての地物を対象とする：レイヤ内の全レコードをエクスポートします。



出力対象カラム選択画面が表示されます。出力対象とするカラムの横のチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

対象レイヤにグループレイヤが選択されている場合は、カラム名は表示されません。

- |   |                          |  |
|---|--------------------------|--|
| 1 | エクスポートパターン<br>ドロップダウンリスト | 保存したエクスポートパターンを読み込みます。エクスポートパターンにはカラムのチェック状態が保存されます。 |
| 2 | パターン削除                   | エクスポートパターンドロップダウンリストで選択されているものを削除します。                |
| 3 | 出力対象カラム                  | 出力する属性カラムをチェックします。                                   |
| 4 | 全選択ボタン                   | 出力対象カラムをすべてチェックします。                                  |
| 5 | 選択解除ボタン                  | 出力対象カラムのすべてのチェックを外します。                               |
| 6 | パターン保存ボタン                | 現在の出力対象カラムの状態に名前を付けて保存します。                           |



出力形式指定画面が表示されます。出力形式を指定し「完了」をクリックします。

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 圧縮フォーマット<br/>ドロップダウンリスト</li> <li>2 出力フォーマット<br/>ドロップダウンリスト</li> <li>3 コード変換有無</li> <li>4 表示単位有無</li> <li>5 データ型表示有無</li> </ol> | <p>出力ファイルの圧縮形式を選択します。</p> <p>属性値の出力フォーマット(CSV/XML)を選択します。</p> <p>出力する属性値をコードのまま出力するか、コードを値に変換して出力するかを選択します。</p> <p>出力する情報にデータの単位を含める/含めないを選択します。</p> <p>出力する情報にデータの型情報を含める/含めないを選択します。</p> |
|---|--|



完了画面が表示されます。完了結果の確認とダウンロードは、バッチ処理管理画面からおこなってください。バッチ処理管理画面については「29 バッチ処理要求管理」をご参照ください。